

総務経済委員会

今後、産業部門は独立した部を

■行政組織条例の一部改正

Q 今回、組織改正を行うに当たっての考え方は。

A 23年度からスタートする後期基本計画をスムーズに推進するための組織にすることが最も重要と考えた。計画の三つのキーワードでもある子育て、協働、都市基盤を重点的に整備するという観点から、福祉ことも部とし、子ども課を創設した。協働については、自治振興課の中に、協働事業担当課長を配置するとともに、現在、総合政策部にある元気担当を自治振興課に移す。都市基盤については、まちづくり推進部を都市整備部という名称に改め、分りやすくするとともに、街路整備課を新設して、都市計画道路の整備を推進していこうとするものである。

Q 商工業、農業は、狭山市にとって一番の要であり、それを内外にはっきり示すためにも、一つの部として独立していてもよいのでは。

A 環境、商工業、農業も非常に大きなテーマであり、重要な部門と考えているが、他にも重要なテーマがあり、それらを一つ一つの部にするのは難しいので、全体的な調整の中で今回の形にした。ご指摘の点は、今後の組織を検討する中で十分考えていきたい。

附帯決議

今後の行政組織改正に当たっては、商業、工業、農業等の産業部門を独立した部として立ち上げられたい。以上決議する。

■職員定数条例の一部改正

Q 類似団体との比較は。また、定員適正化計画の目標値は。

A 国の示す類似団体より68名多い。類似団体などに合わせる必要があるとあり、68名をさらに上回る削減計画を作る必要があると考えている。

■平成22年度一般会計補正予算

Q 今回の補正で生じる剰余金を財政調整基金に積み立てた結果、基金残高はいくらになるのか。

A 土地開発基金を除く基金の総額は95億9千800万円で、このうち財政調整基金は、41億7千11万2千円。

■農林水産業

Q 農林水産業費で、購入予定のトラクターの機種は。

A 今の機種と同等の26馬力キヤビン付きを予定している。



議会日誌

11月

- 4日 ▼ 全国市議会議長会基地協議会第74回理事会及び衆・参基地関係委員会委員との要望懇談会に議長出席 (千代田区)
- 6日 ▼ 市政功労表彰式に議長出席
- 8日 ▼ 統営市長の表敬訪問に議長出席
- 10日 ▼ 全国市議会議長会基地協議会関東部会総会に議長出席 (東京都福生市)
- 12日 ▼ 議会活性化特別委員会(22日、12月16日にも開催)
- 18日 ▼ 議会運営委員会(12月13日にも開催)
- 19日 ▼ 東京狭山線整備促進期成同盟会長要望活動に副議長出席 (さいたま市)
- 19日 ▼ 埼玉県都市競艇第4回組合議会定例会に議長出席 (さいたま市)
- 25日 ▼ 第4回定例会(会期20日、12月14日閉会)

12月

- 2日 ▼ 基地対策特別委員会

市議会を傍聴してみませんか 委員会もお気軽に

市議会は、本会議・委員会とも傍聴ができます。皆さんお気軽にお越しください。なお、第1回定例会の予定は裏表紙のとおりです。



文教厚生委員会

市民からの請願2件を採択

■中央児童館の指定管理者の指定について

施設についての課題は。

A 施設そのものの老朽化に加え、プラネタリウムの老朽化も大きな課題である。仮にプラネタリウムが使えなくなった場合、その改修あるいは更新の問題も含めて、中央児童館のあり方なども考えなくてはならなくなる。

請願

■エアコン未設置の小・中学校に早期設置をお願いする請願

賛同人3千30人について、その署名活動の方法と署名者の内容は。

A 駅やスーパードなどの声かけの他に、スポーツ少年団や商工会議所青年部、小中学校の保護者の方々に依頼して行った。小中学校の児童生徒や保護者の方が圧倒的に多い。

■学力、体力向上に向けた学校環境整備の充実について

Q 道徳教育は、学習指導要領に基づき各学校でそれぞれ実施されている。なぜ全学級一斉道徳授業を求めたのか。
A 小中学生の心の教育が今非常に重要であり、道徳授業のさらなる充実を求めるといふ趣旨である。
Q 校庭の全面緑化・芝生化は、芝の養



育を全学級一斉にやるということを決めるのは、教育現場に介入することにもなりかねない。

生などから使用が制限されないか。また、維持管理経費についてどう考えているか。

A 鳥取方式という40センチ四方のポット苗を植えると約半年で芝生化ができ、手入れも比較的簡単で経費も安い方式がある。すでに実施済みの学校では、子どもたちが楽しく遊んでおり、校庭の芝生化・緑化は、環境的にも教育的にも有意義であると考えている。

【意見】

▼子ども体力の向上には、子どもたちにも遊んでもらえる環境づくりが大

事なことである。

▼狭山市の財政力から考えると、選択と集中の判断の中でどこに予算を持つてくるのかということだ。

▼校庭を全面緑化すると、運動会などでさまざまな競技を行う際に支障が出かねない。

■閉会中の特定事件審査 旧汚水処理施設解体工事の経緯 解体の設計業務と跡地の有効利用



東西自由通路を視察

建設環境委員会

狭山市駅東西自由通路が開通

■狭山市駅東西自由通路条例

Q 犬の散歩、自転車の乗り入れは可能なのか。

A 介助犬、身体障害者補助犬、犬をケージに入れる、自転車を利用する際の手持ち込むなど、鉄道を利用する際の手回り品としてみなされる場合以外は通行できない。

Q 階段に上りと下りの区別線がなく、非常に危険だと思いが、改善は。

A 西口開発事務所と調整し、つけるようにしたい。

は並行して行うのか。

A 現段階では県に解体ということで届け出ているので、解体の設計を来年度予定して事務を進めている。また、合理的な理由があれば、残す事も可能であるとの県の見解であることから、それらを含め調査をしていきたい。

Q 合理的な理由とは何か。
A 周辺の地盤が軟弱であるため、地下埋設物を撤去することで地盤沈下や周辺建物などに影響がでる場合など。

■所管事務調査

■狭山市駅西口周辺地区整備事業

Q 駅舎建設に伴う排水設備工事で、なぜすべての樹を検査しなかったのか。
A 本管に接続する樹だけが確認でき、その他は鉄板がかぶっていたため、確認せず合格とした。検査合格としたことが不適切だったと深く反省している。

Q 再発防止策は。
A 工事店に申請手続などをきちんとするよう文書を送付した。内部では完了検査指針を作り、今後の検査態勢を強化し進めるよう対応した。

Q 指針の具体的内容は。
A 検査の心構え、検査項目、排水設備完了検査チェック項目を設定するなど、検査の仕組みを整えた。